

令和 7年度 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 サービス評価表

1. 事業所情報

事業所番号	1490700232	事業開始年月日	H28.2.1
法人名	医療法人光陽会		
事業所名	ハートケア 磯子		
事業所所在地	(〒235-0013)		
	横浜市磯子区広地町7-12		
電話番号	045-754-2911	FAX番号	045-750-0588
施設等の区分	連携型	サービス提供地域	横浜市
自己評価作成日	令和7年5月1日		

3. 法人・事業所の特徴

法人の特徴	【目標】 地域の方々に安心と信頼を提供し続けられるよう、社会のニーズに適切に対応しつつ健全なる経営を維持していきます。
	[基本指針] 1)常に患者のケアと幸福を第一に考えること 2)常に医療者としてのプライドを持ち、誠実に業務を行うこと 3)常に技術・知識のみならず人格を向上させるよう努力すること
事業所の特徴	住宅型有料老人ホームと一体的に定期巡回・随時対応型訪問介護看護を運営し健全な経営の維持を図っております。 また、定期巡回サービスの業務を一部委託し地域の訪問介護事業者と連携した支援を提供させて頂いております。 住み慣れた地域で生活できるよう、今後も地域の訪問介護事業者様と連携しサービスを提供してまいります。

2. 介護・医療連携推進会議

介護・医療連携推進会議への公表日	令和7年5月14日
開催場所	関東病院 会議室

自己評価・外部評価 評価表

タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価コメント	
			実施状況					コメント
			る で き て い	て ほ い ぼ る で き	が な い こ と い	で 全 い く な い き		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]								
(1) 理念の明確化								
サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				事業所理念に「日常生活を自立し住み慣れた地域でサービス提供」が該当する。	・事業所内に掲示されている。
(2) 適切な人材の育成								
専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				年間指針とともに年度初めには職員会議等で確認する機会はある。	・一生懸命されている。 ・サービス特徴を理解している。
	3	運営者は、専門技術(アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	○				毎月、事業所内研修を行っている。職員の能力向上を図り職員ごとに外部研修への参加も行っている。	・職員会議(2日間開催)時に行っていて参加人数が多い。 ・外部研修を積極的にしていると感じた。
	4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				職員配置は適正に行えている。個別研修計画に基づき個々人の不得意分野の解消に努めている。	・1人の利用者に対し、多くのヘルパーがサービスに入っている。
介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				訪問アセスメントの際に助言を受けサービスに反映している。	・法人内訪看を多く利用しているので情報共有は早い印象。 ・法人内訪看で連携が取りやすいのが良い。

(3) 適切な組織体制の構築								
組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている	○				数か月に一度は、柔軟な人材配置となる様にサービス体制の変更をおこなっている。	・夜間も1.5人(夜勤+深夜勤)いるのが良い。
介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供等に適切に反映させている			○		反映できる利用者とはできない利用者があるが、極力反映できるように努力している。	・会議で出る意見を全ての利用者に反映することは難しいことは理解できる。
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備								
利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				ICT活用継続。	・スマケアは良い。 ・記録の電子化は良いと思う。
(5) 安全管理の徹底								
職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○				マニュアルは完備。	・防災の研修を行っている。 ・小さな地震でも管理者が連絡をくれたりしました。
利用者等に係る安全管理	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				個人情報責任者配置。	・スマケア内で情報が共有できるのは良い。 ・権利擁護等の研修が行われている。
Ⅱ 過程評価 (Process)								
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供								
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成								
利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			施設訪問が多く、在宅利用者に対応しにくい時間帯がある。	・施設訪問が多く在宅は少ない印象です。

	12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				アセスメント内容を基に計画立案している。	・毎月モニタリングを行わせてもらっている。
利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				利用者意向確認し実施。	・問題なく行えている。
	14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			計画作成責任者の意識をはじめ、ケアプランとの整合や家族の要望もあり、未来志向とならないケースの方が多い。徐々に変革する。	・自立支援はよく意識されていると感じている。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し								
計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				随時対応している。	・施設系と関りがある為か、随時対応は多いと思った。・問題なくされている。
継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			モニタリング直後の変更内容には対応できない事もある。	・比較的早い印象。
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供								
介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている	○				サービスの適切な役割分担は行えている。	・連携が図れている。
看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				訪問アセスメント時に情報収集。	・助言や意見するのに困ったケースは無い。

(4) 利用者等との情報及び意識の共有							
利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○			アセスメントは実施されているが、利用者、家人の意向等もあり、必ずしも希望を全てに応えられない事もある。	・利用者の生活は継続できている。
利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○			利用者及びご家族に署名捺印を得ている。	・当然のことである。 ・できている。
	21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○			ノートや電話連絡等適宜実施している。	・スマケアを利用者家族も見られるのは良い。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント							
(1) 共同ケアマネジメントの実践							
利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○			変化等がある場合は適宜ケアマネと相談し決定している。	・連絡や相談もしやすいと思います。
	23	計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている	○			インフォーマルを紹介しきれていない事はない。	・インフォーマルとのバランスが難しいのは色々な事業所であると思う。
定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○			会議を通じて日頃の状況についてはなるべく細かく伝えるようにしている。	・担当者会議への参加は積極的な印象。 ・お互いに連携意識があるので問題ない。

(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献							
利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについて、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)	○			必要時には情報共有を図るが、ケアマネから関係各位に連絡している。	・グループ内訪看もあり、多職種の意見も集め易いと思う。
	26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)	○			退院カンファレンスが開催される場合は必ず出席している。	・医療法人なので、連携はできている。
多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	○			必要であれば、関係する多職種の担当者を集め意見交換の機会を設けている。	・利用者希望に合わせて、連携訪看先として契約して頂けた。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画							
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案							
介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○			HPにて毎回公表	・HP自体の更新があったとの事で、最新版は確認できていないが、過去は見たことある。
	29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○		HPにて毎回公表	・サービス概要等は、よこはま地域ネット内容と変わりにく問題ないと思いま
(2) まちづくりへの参画							
行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			
サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている			○	地域への展開も考えているが、依頼数少なく在宅訪問件数が少ない状況。	・在宅件数は少ない印象です。

安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）			○			
Ⅲ 結果評価（Outcome）								
サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○					・介護度平均が高く、訪問回数や柔軟な対応が求められていると思う。
在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				安心感は得られていると考えるが利用者が評価する事である。	・随時でも対応されているので、良いと思います。 ・モニタリング時も、苦情等は受けていない。